2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　株式会社フェニックスバイオ　　上場取引所　東
コード番号　　6190　　ＵＲＬ　https://phoenixbio.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役　　（氏名）加國　雅和
問合せ先責任者　（役職名）取締役管理部長　　（氏名）加川　修　　ＴＥＬ　082（431）0016
半期報告書提出予定日　　2026年11月13日　　配当支払開始予定日　－
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	558	△26.1	△119	－	△120	－	△123	－
2026年３月期中間期	756	△4.0	5	－	16	－	12	－

（注）包括利益　2027年３月期中間期　△126百万円（－%）　2026年３月期中間期　8百万円（－%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	△30.36	－
2026年３月期中間期	3.03	－

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	1,986	1,425	71.1
2026年３月期	2,192	1,552	70.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　1,411百万円　2026年３月期　1,538百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年３月期	－	－			
2027年３月期（予想）			－	－	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,416	△9.5	20	△74.7	25	△80.6	19	△84.5	4.78

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日公表しました「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　ー社　（社名）　　、除外　ー社　（社名）

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：無
　②　①以外の会計方針の変更　　：無
　③　会計上の見積りの変更　　：無
　④　修正再表示　　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	4,076,933株	2026年３月期	4,076,933株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	6,737株	2026年３月期	6,737株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	4,070,196株	2026年３月期中間期	4,059,323株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注記事項等については、添付資料３ページ「１．経営成績等の概況（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）当中間期の経営成績の概況 …… 2
（２）当中間期の財政状態の概況 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 6
中間連結損益計算書 …… 6
中間連結包括利益計算書 …… 7
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等の注記） …… 9
（重要な後発事象） …… 9
３．補足情報 …… 10
（１）サービスライン別売上高 …… 10
（２）分野別売上高 …… 10
（３）分野別受注高 …… 10

１．経営成績等の概況

（１）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により景気は緩やかに回復しているものの、米国の通商政策の影響や物価上昇の継続等が景気を下押しするリスクとなっており、先行きは不透明な状況にあります。

当社グループの顧客が属する医薬品業界では、世界人口の増加と新興国の所得水準の向上を背景として市場は成長しておりますが、特許切れによる後発薬の台頭、新薬開発の長期化等により製薬企業の収益性は厳しさを増しております。一方で、潤沢な資金を持つ大手製薬企業は、新たな収益源を求めて有望なパイプラインには積極的に投資する等、M&Aによる業界再編が進んでおります。このような状況を背景に、製薬企業では新薬開発を迅速かつ効率的に実施するために、臨床試験等の開発業務を外部のCRO（開発業務受託機関）へ委託するケースが増えており、当社がターゲットとしている前臨床試験におきましても製薬企業の外部委託は拡大傾向にあります。

このような状況のもと、当社グループでは世界の大手製薬企業が研究開発拠点を置く米国を中心に、マウスの肝臓の70%以上がヒトの肝細胞に置き換えられたヒト肝細胞キメラマウス（当社製品名：PXBマウス）を用いた受託試験サービスの提供及びPXBマウス関連製品の販売を行っております。

創薬市場では、創薬モダリティの多様化や創薬機序の複雑化が進むなか、ヒト予測性の高い評価系に対する需要は高まっております。国内市場においては、PXBマウスが新しい創薬モダリティを含む幅広い創薬研究において採用されるとともに、PXB-cellsについても薬物代謝試験や安全性評価におけるルーティン評価ツールとして利用が拡大したことにより、受託試験サービス及び関連製品販売は好調に推移いたしました。一方、海外市場においては、主要顧客である米国製薬企業の研究開発予算の抑制が継続しており、見込んでいた複数の受託試験案件が失注するなど厳しい受注環境が続きました。国内市場は前年同期を大きく上回ったものの、海外市場の減収を補うには至らず、連結売上高は前年同期を下回り、売上原価及び販売費及び一般管理費の圧縮を進めたものの、売上高の減少が影響し、営業損失となりました。

この結果、当中間連結会計期間の売上高は558,919千円（前年同期比26.1%減）、営業損失は119,827千円（前年同期は営業利益5,676千円）、経常損失は120,616千円（前年同期は経常利益16,365千円）、親会社株主に帰属する中間純損失は123,555千円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益12,307千円）となりました。

（２）当中間期の財政状態の概況

（資産）

当中間連結会計期間末における流動資産は1,461,096千円となり、前連結会計年度末に比べ182,264千円減少いたしました。これは主に売掛金及び契約資産が23,235千円増加した一方で、現金及び預金が187,152千円減少したことによるものです。また固定資産は525,685千円となり、前連結会計年度末に比べ23,635千円減少いたしました。この結果、資産合計は1,986,782千円となり、前連結会計年度末に比べ205,899千円減少となりました。

（負債）

当中間連結会計期間末における流動負債は351,174千円となり、前連結会計年度末に比べ22,124千円減少いたしました。これは主に短期借入金が10,000千円減少したことによるものです。また固定負債は209,857千円となり、前連結会計年度末に比べ56,898千円減少いたしました。これは主に長期借入金が39,996千円減少したことによるものです。この結果、負債合計は561,032千円となり、前連結会計年度末に比べ79,022千円減少となりました。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は1,425,749千円となり、前連結会計年度末に比べ126,877千円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する中間純損失の計上により利益剰余金が123,555千円減少したことによるものです。

（キャッシュ・フローの状況）

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ187,152千円減少し、960,023千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、使用した資金は121,468千円（前年同期は177,408千円の使用）となりました。これは主に税金等調整前中間純損失△120,399千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は4,043千円（前年同期は7,170千円の使用）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出3,894千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は55,880千円（前年同期は52,073千円の使用）となりました。これは長期借入金の返済による支出39,996千円、短期借入金の返済による支出10,000千円があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2026年５月15日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表しました「2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,147,175	960,023
売掛金及び契約資産	136,097	159,332
有価証券	1,019	1,151
製品	64,898	66,500
仕掛品	42,014	49,773
原材料及び貯蔵品	200,858	186,756
その他	51,296	37,558
流動資産合計	1,643,360	1,461,096
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	55,153	50,846
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品（純額）	23,731	21,837
土地	296,000	296,000
リース資産（純額）	42,004	36,027
使用権資産（純額）	101,467	91,411
建設仮勘定	－	1,250
有形固定資産合計	518,357	497,374
無形固定資産	14,966	12,600
投資その他の資産	15,997	15,711
固定資産合計	549,321	525,685
資産合計	2,192,682	1,986,782
負債の部		
流動負債		
買掛金	13,588	16,308
短期借入金	110,000	100,000
１年内返済予定の長期借入金	79,992	79,992
未払法人税等	10,977	9,801
前受金	45,951	47,622
賞与引当金	6,982	2,080
受注損失引当金	7,135	2,891
その他	98,671	92,479
流動負債合計	373,299	351,174
固定負債		
長期借入金	140,026	100,030
その他	126,729	109,827
固定負債合計	266,755	209,857
負債合計	640,054	561,032

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,573,570	2,573,570
資本剰余金	793,479	793,479
利益剰余金	△1,907,759	△2,031,315
自己株式	△40	△40
株主資本合計	1,459,250	1,335,694
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	79,041	75,975
その他の包括利益累計額合計	79,041	75,975
新株予約権	14,336	14,080
純資産合計	1,552,627	1,425,749
負債純資産合計	2,192,682	1,986,782

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	756,352	558,919
売上原価	181,440	168,464
売上総利益	574,911	390,455
販売費及び一般管理費	569,234	510,282
営業利益又は営業損失（△）	5,676	△119,827
営業外収益		
受取利息	5,291	4,140
為替差益	4,312	－
輸送収入	1,004	1,767
業務受託料	2,276	－
その他	208	612
営業外収益合計	13,093	6,520
営業外費用		
支払利息	2,398	2,294
株式交付費	6	－
為替差損	－	5,015
営業外費用合計	2,405	7,309
経常利益又は経常損失（△）	16,365	△120,616
特別利益		
新株予約権戻入益	－	256
特別利益合計	－	256
特別損失		
固定資産除却損	0	39
特別損失合計	0	39
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	16,365	△120,399
法人税、住民税及び事業税	3,897	3,026
法人税等還付税額	△5,938	－
法人税等調整額	6,099	129
法人税等合計	4,057	3,156
中間純利益又は中間純損失（△）	12,307	△123,555
親会社株主に帰属する中間純利益又は親会社株主に帰属する中間純損失（△）	12,307	△123,555

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益又は中間純損失（△）	12,307	△123,555
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△3,594	△3,065
その他の包括利益合計	△3,594	△3,065
中間包括利益	8,713	△126,621
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	8,713	△126,621

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益又は税金等調整前中間純損失（△）	16,365	△120,399
減価償却費	15,312	17,018
株式報酬費用	4,496	1,837
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,963	△4,858
受注損失引当金の増減額（△は減少）	10,440	△4,244
事業整理損失引当金の増減額（△は減少）	△97,230	－
受取利息	△5,291	△4,140
支払利息	2,398	2,294
為替差損益（△は益）	△2,340	4,526
有形固定資産除却損	0	39
新株予約権戻入益	－	△256
売上債権及び契約資産の増減額（△は増加）	△47,364	△23,235
棚卸資産の増減額（△は増加）	△49	4,740
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,628	2,732
未払金の増減額（△は減少）	△15,558	△9,066
前受金の増減額（△は減少）	△34,705	1,670
預り金の増減額（△は減少）	16,734	2,179
その他	△30,778	△55
小計	△174,164	△129,217
利息及び配当金の受取額	5,382	4,157
利息の支払額	△2,398	△2,287
補助金の受取額	－	8,828
法人税等の支払額	△6,714	△4,185
法人税等の還付額	485	1,236
営業活動によるキャッシュ・フロー	△177,408	△121,468
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△175	△149
有形固定資産の取得による支出	△8,924	△3,894
無形固定資産の取得による支出	△1,502	－
その他	3,432	－
投資活動によるキャッシュ・フロー	△7,170	△4,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	－	△10,000
長期借入金の返済による支出	△39,996	△39,996
リース債務の返済による支出	△12,077	△5,884
財務活動によるキャッシュ・フロー	△52,073	△55,880
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,173	△5,760
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△237,826	△187,152
現金及び現金同等物の期首残高	1,149,390	1,147,175
現金及び現金同等物の中間期末残高	911,564	960,023

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、「PXBマウス事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

３．補足情報

（１）サービスライン別売上高

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
受託試験サービス	269,039	35.6	75,106	13.4
PXBマウス販売	445,168	58.8	388,955	69.6
PXB-cells販売	42,143	5.6	94,857	17.0
合計	756,352	100.0	558,919	100.0

（２）分野別売上高

		前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	
		金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
薬効薬理分野	国内	1,028	0.1	12,467	2.2
	海外	30,291	4.0	782	0.1
安全性等分野	国内	157,634	20.9	214,743	38.4
	海外	567,397	75.0	330,925	59.2
合計		756,352	100.0	558,919	100.0

（３）分野別受注高

		前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）		当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）	
		受注高(千円)	受注残高（千円）	受注高(千円)	受注残高（千円）
薬効薬理分野	国内	5,789	5,442	8,279	4,460
	海外	678	2,526	－	1,923
安全性等分野	国内	181,698	28,174	131,060	19,405
	海外	431,875	914,004	153,855	541,982
合計		620,041	950,146	293,195	567,771

（注）当社グループは「PXBマウス事業」の単一セグメントでありますが、事業の傾向を示すためサービスライン別売上高、分野別売上高及び受注高を記載しております。